

土木屋の読書と旅 (22)

令和 6 年 3 月

若狭を旅してみたいと思った。北陸地方は旧国名で南西側から若狭・越前（福井県）、加賀・能登（石川県）、越中（富山県）、越後（新潟県）から成る。つまり、若狭は北陸地方の南端であり、滋賀県・京都府と接し、日本海に面した地域である。九頭竜川に沿って著名な観光地である永平寺、東尋坊や芦原温泉、県庁所在地の福井市（越前）は訪れたことはあるが、日本海沿岸の若狭（福井）、丹後（京都）、但馬（兵庫）は未踏の地である。ではなぜ若狭に行こうと思ったのか。それは一冊の本との出会いにあり、三方五湖（三方湖、水月湖、菅湖、日向湖、久々子湖）の存在を知ったことにある。



* * *

『岩波科学ライブラリー 時を刻む湖 ～7万枚の地層に挑んだ科学者たち～(岩波書店 2015/9.9)』
中川 毅：立命館大学古気候学研究センター長、著者には一連の研究を気候変動の観点から述べている、第33回講談社科学出版賞を受賞した新書版の『人類と気候の10万年史(講談社 BLUE BACKS B2004)』もある。

本の要旨は、プロローグで紹介される2012年10月18日に日本の文部科学省で行われたアメリカ科学振興協会（有名な科学雑誌「サイエンス」の発行元）主催の記者会見記事で分かる。『世界一精密な年代目盛り＝福井・水月湖、堆積物5万年分——日欧チーム（時事通信）』が的確に表しており、キーワードは「年縞」である。『年縞とは1年に1枚ずつ形成される薄い地層のことである。そのような地層を1枚ずつ削り取るように分析していけば、何万年も前に起こった出来事であっても、その推移を1年ごとに詳細に復元することができる。…年縞堆積物は世界の各地で見つかっており…だが、最も長く連続した年縞堆積物、いわば年縞のチャンピオンが日本にある…若狭湾岸にある水月湖の年功は45メートルもの厚さを持ち、7年以上もの時間をカバーしている。…2012年には水月湖の年縞に基づいた「年代の目盛り」が地質年代の世界標準に認定さ

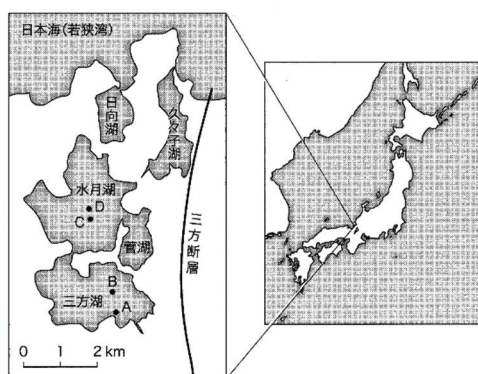
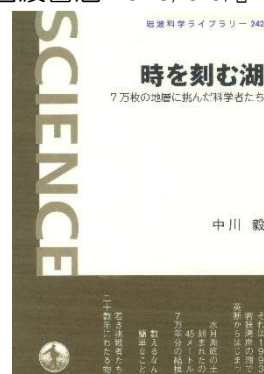


図1-1 三方五湖。A：三方湖1980年ボーリング地点、B：三方湖1991年ボーリング地点、C：水月湖1993年ボーリング地点、D：水月湖2006年ボーリング地点



れ、翌年からは実際に目盛りの運用が始まった。…それまで日本ですら有名とは言えなかった福井県の湖は「レイク・スイゲツ」として世界中の研究者にその名を知られるようになった…さらに2018年9月には、福井県若狭町の現地に、水月湖の年功を展示する専用の博物館(年縞博物館)がオープンしている…(人類と気候の10万年史)』1993年に採取され、のちにSG93とよばれることになるコアが年功研究の扉を開けた。蛇足ではあるが、研究者のリーダーであった安田喜憲教授は予算不足で、この時のボーリングを請け負った川崎地質株式会社から1000万円

土木屋の読書と旅（22）

令和 6 年 3 月

近い借金をして掘削したとある、他意はない情報である。では、若狭への旅に出発する。

* * *

新山口駅を 07:11 発のぞみで出発し、京都駅でライチョウ 09:42 発に乗り換えると旅愁を楽しむ間もなく 10:34 には敦賀駅に到着できる。昨年 11 月下旬の祝日連休の旅、北陸新幹線敦賀までの令和 6 年 3 月開業の垂れ幕が駅舎に誇らしげに揺れていた。予約しておいた駅前のレンタカー営業所でアクアを借り三方五湖に向かう。想像以上に東西の幹線道路は整備が進んでおり、国道 27 号を西走する。

美浜から県道へ右折、案内板に沿って進むと「久々子湖」畔を過ぎいよいよ観光道路（山道）に入っていく。右手側に「日向湖」がある筈であるが山林でほとんど見えず、展望台のある梅丈岳（三方富



士）に向かう。順番待ちのリフトを使って頂上の展望台、カフェ・レインボーへ到着。三方五湖と若狭湾が眼下に広がり、すがすがしい気持ちでランチタイム（歳のせいかなとっては何を食べたのか記憶にない）。

時刻は 2 時過ぎ。ホテルのチェックインにはまだ早いのので、反時計回りに五湖を周る。水月湖畔に降りたところで有料道路（今は無料開放）は終わり、起伏の少ない県道となる。さらに三方湖畔をしばらく進むと国道 162 号に合流し、道の駅三方五湖へ到着する。隣接するのが、三方湖に流入する唯一の川「はす川」左岸沿いの縄文ロマンパークであり、この中に今回の旅の所要目的地である「年縞博物館」と湖底ボーリング調査のきっかけとなった関連施設「若狭三方縄文博物館」が厳かに鎮座している。

年縞博物館は古代の校倉造りを模した現代建築であり、床下の開放的な空間を通して「はす川」のゆったりした流れが臨める。1 階のエントランスホールで受付を済まし、2 階の展示室に上がる。45m におよぶ水月湖の年縞を遡りながら過去 7 万年を旅することになるため、展示フロアは細長い一室構造で、奥端の仕

切りの向こうが「café 縞」という配置の博物館である。残念ながらカフェは休店日。圧巻の年縞を堪能して隣の若狭三方縄文博物館へ向かう。

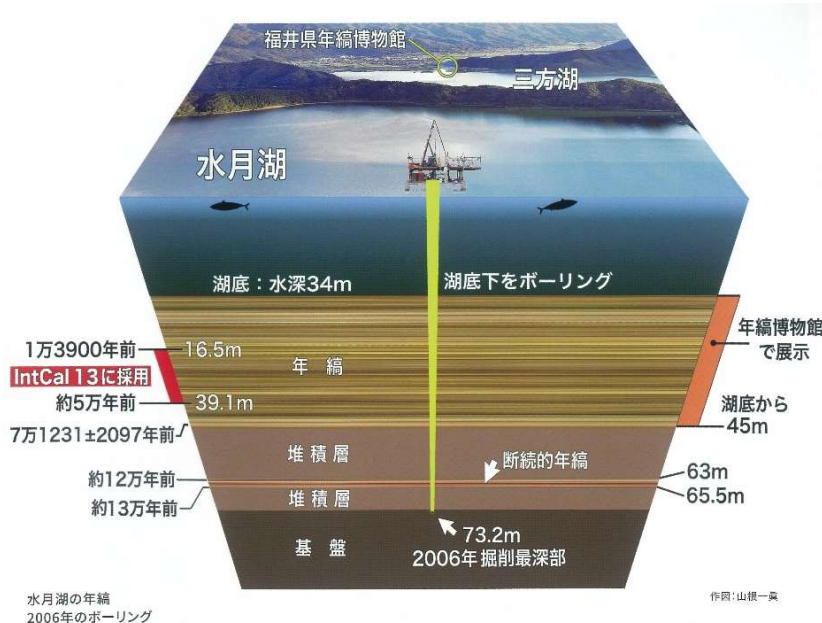
三方湖のほとりには鳥浜貝塚という縄文時代の大規模な遺跡がある。『貝塚の遺物は多様性に富むうえに保存状態もよかったことから、「縄文のタイムカプセル」と呼ばれ、考古学の一世を風靡した。その後、三内丸山など大型遺跡の発見が続いたことで、知名度は相対的に低下した。しかし鳥島貝塚の発掘ではもう一つ画期的な取



土木屋の読書と旅 (22)

令和 6 年 3 月

組が行われていた。環境考古学的なアプローチとして三方湖湖底のボーリングコアが採取されたことである。これが水月湖での年縞研究につながっていく。』円形の古墳を模した博物館は2階の出入り口から棺を納める石室に入るイメージで螺旋階段を下り展示室に至る。ちなみに、縄文博物館の初代館長は梅原猛（大胆で独創的な「梅原日本学」を確立したが、批判も多かった学者）である。



まとめとして、「年縞」というものがどのようなものであるのか、（高価であるが買ってしまった）福井県年功博物館解説書から特別館長：山根一真氏のイラストを紹介しておきたい。これ以上のイメージが掴みやすい説明はないのではないかと思います。

時刻も4時を過ぎたので宿泊先の「湖上館パムコ」へ向かう。パムコには2泊したわけであるが、水月湖の湖畔にある民宿風の安価なホテルである。



2日目、北陸の天気だろうか、朝から雲行きがあやしい。まずは、丹後半島（京都府）の「伊根」を目指して自動車道を西へひた走る。舞鶴若狭自動車道⇒京都縦貫自動車道⇒山陰近畿自動車道（本来は与謝天橋立 IC で降りるのがベストのところを無料区間が続いていたので先に進み中途半端な山間部で一般道へ接続し、大いに慌てる）ナビを頼りに峠越えをし、海岸沿いの本来の道 R178 号を北上し昼前には伊根に到着する。天気は曇り時々小雨。

伊根は、ベニスではないが海から直接出入りができるように、ひたひたと上下する海面際に木造民家が連担している独特の風景の町である。海岸線沿いの小路を挟んだ木造家屋のまちなみは柳井市の伝建地区によく似ている。旅の思い出に海に面した船倉を利用した空間でコーヒーを飲む。後追いで入って来たギャル二人はお茶を注文したのだが、長髪を後ろで束ねたマスターが「お茶と



いいにしても、日本茶もそうですが中国茶では黒茶（プーアル）、紅茶、青茶（烏龍）……紅茶ではダージリン、アッサム……といろいろな種類を取り揃えておりますので何を飲みたいのか種類を示してください」といわれ唖然としていた。コーヒーにしておいてよかったと思った。料金は商家風の上がり框のある畳の部屋で支払う。維持管理費が掛かるのだろうか、本格的なコーヒーであったが高い。



土木屋の読書と旅（22）

令和 6 年 3 月

多少雨模様になってきたので、天橋立目指して丹後半島を海岸沿いに南下する。天橋立の展望台は小雨交じりの天気となったがアジアからの観光客もふくめて賑わっていた。帰路には舞鶴港に寄ろうと思ったが、11 月末の日暮は早く、観光は断念して夕食前にホテルへ帰着。3 日目、帰りの予定時間まで敦賀市内を彷徨する。敦賀駅前にはきれいに再整備され、隣接施設にユニークな本屋（販売会社押しつけのベストセラー本がメインでない）は立派である。



* * *

「病院」にまつわる話をしたい。とはいっても具体的な病気の話や病院のあり方についての高尚な話ではない。「病院」という単語をタイトルに含む TV 番組と本についての話である。

* * *

『病院ラジオ』という NHK のテレビ番組：以前から好きな番組であるが、なにせ不定期な放送なので朝刊のテレビ欄を見るまで予定の立たない番組のひとつである。2 月 23 日の放送は「広島赤十字・原爆病院」編であった。



ではどんな番組なのか。NHK の番組案内では「サンドウィッチマンが、病院に出張ラジオ局を開設！ 患者や家族の日ごろ言えない気持ちをリクエスト曲とともに聞いていく。ラジオを通じてさまざまな思いが交錯する、笑い涙の新感覚ドキュメンタリー。」と紹介している。NHK はドキュメンタリー番組として制作しているのか？という気はするが、私にとっては 50 年前の受験生相手の深夜ラジオ番組を思い出す。もっとも、私自身は深夜勉強（24 時以降）する習慣はなかったが、同級生がよく話題にしていたのを思い出す。サンドウィッチマンの人柄が上手く効いている良い番組であると思う。

『任侠病院（実業之日本社）』今野 敏：「隠蔽捜査」「TOKAGE」シリーズなど多くのベストセラーがあり、テレビドラマ化された作品も多い。

組長の器量と人望で生き残ってきた昔ながらのヤクザ・阿岐本組へ次々と持ち込まれる一風変わった経営再建話に不安でいっぱい、の代貸日村と乗り気でいっぱいの組員たちが活躍する人気シリーズの第三弾である。このシリーズは「任侠書房」「任侠学園」「任侠病院」「任侠浴場」「任侠シネマ」「任侠楽団(2022.6)」と今も続いている。

* ちなみに、関東では「代貸」というが、関西では「若頭」というらしい。



「任侠学園」は以前、組長（西田敏行）代貸（西島秀俊）で映画化されているが、観ていないので断言はできないがミスキャストではないかと思う。原作を先に読んでいると自然と頭の中にイメージ像ができていくものでしょくりこない。

「任侠病院」では、確かにそうだと思う著者の職業観、人としての在り方が如実に表れている一段がある。『それが看護師という仕事なんだと師長は言いました。』『歯を食いしばって責任を果たす。それがプロなんだと……師長は、看護師たちに、プロとして見られたいのだったら、それなりのことをやりなさいと言っているそうです。そのためには勉強や努力も必要だし、我慢も必要だと』阿岐本のオヤジは、うーんとうなった。』この本はコミカルなストーリー展開のなかにも日本人のメンタリティー、人情を気づかされる一冊である。

古谷 健